

## 第 21 回番組審議会 審議議事録

1. 開催日 平成 30 年 4 月 23 日（月）16 時～17 時
2. 開催場所 タス 3F 併（山形県長井市館町北 6-27）
3. 委員出席 委員総数 : 6 名  
欠席委員 : 1 名  
出席委員 : 番組審議会会長 勝見英一郎  
番組審議会副会長 齋藤 喜内  
番組審議委員 塚田 弘一  
番組審議委員 寺嶋 宏武  
番組審議委員 谷澤 秀一  
放送事業者側出席 黒澤 栄（代表取締役）

### 4. 議題

- (1) 代表者挨拶
- (2) 御審議
- (3) その他

### 5. 議事の概要

- (1) 開会
- (2) 御審議

#### ①番組の適正について

対象番組：生放送 けさらじ、ひるらじ、ゆうらじ  
ニュース読みについて

- ②質疑応答
- ③その他
- ④閉会

## 6. 審議内容

### ① 質疑応答

(齋藤副会長)

- ・ 同じ話題でも時間を変えて、放送するのは、必要とする人もいるので良い。
- ・ ニュースは、誤解のないように歯切れよく正確に伝えてほしい。
- ・ 声の感じ（印象）がいいということも重要。

(谷澤委員)

- ・ ニュースの読み上げは、まだ慣れていないと感じる。
- ・ ニュース原稿は縦書きで読みにくいと聞いたが、横書きに変更できないのか。
- ・ 文章をどこで区切ったらいいか、わからないのではないか。

(塚田委員)

- ・ ニュースを読んでいる時、棒読みで気持ちが入っていないと感じるときがある。
- ・ パーソナリティの知識や教養に差がつくと思う。
- ・ 企業名などは、途中で区切らずに言ってほしい。

(寺嶋委員)

- ・ 漢字の読み違いはいただけない。
- ・ 他局のアナウンサーで、震災情報を読み上げている時に明るく伝えており、違和感を覚えた。ニュースの内容に応じた対応をしてほしい。
- ・ 新しいパーソナリティのあべさんは、自然で訛りもなく、喋りが上手だと思った。
- ・ 「この人のラジオだと聴きたいな」と思われるラジオを目指してほしい。

(勝見会長)

- ・ ニュースを読んでいる途中で問えてしまうと、それ以前に聴いていた内容がリセットされる。
- ・ ニュースを咀嚼し、わかりやすく正しく伝えるという気持ちが足りないのでは。
- ・ 以前に比べ、(作業途中でも) 気にせずにスムーズに聞き流すことが出来るようになった。
- ・ ××です～と強くなったり、語尾を強調したりするところが気になる。いくつか単語を置いて、「こちら」という言い方が気になった。
- ・ ゲストがいる場合など、とっさに言葉が出ず、間を取ってから喋る場面が気になる。
- ・ 全体的に聴きやすくなり、番組の構成も当初より高度になってきている。
- ・ 声の質や語感や行間に知性が出るように努めてほしい。

### ③その他

- ・特になし

#### 7. 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・特になし

#### 8. 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：平成 30 年 5 月 8 日（火）

#### 9. その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

- ・平成 30 年 5 月は休会とする。
- ・第 22 回放送番組審議会 平成 30 年 6 月 25 日（月）  
開場 未定